

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	英語演習Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号	33012			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	制御情報工学科			対象学年	3		
開設期	前期			週時間数	1		
教科書/教材	PRACTICAL SITUATIONS FOR THE TOEIC TEST LISTENING ①成美堂						
担当教員	岡田 美鈴						
到達目標							
ディベート活動による基礎知識の定着と総合的英語運用能力向上を目標とします。また、テキストからTOEIC試験に必要な文法や語彙、リスニング力なども身につけます。 1) 基礎知識を活用し、論理的思考を伴う以下の英語運用能力 (Writing, Speaking, Listening) の向上を目指す。 2) TOEICの問題形式を把握し、TOEIC試験において350点程度のスコアを取得する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)			標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1	ディベートの構成を理解し、これまでのプレゼンテーション活動で学んだ重要表現を用いて、内容について十分な議論をすることができる。			ディベートの構成を理解し、これまでのプレゼンテーション活動で学んだ重要表現を用いて、内容についておおそ議論をすることができる。		ディベートの構成を理解し、これまでのプレゼンテーション活動で学んだ重要表現を用いて、内容について議論をすることができない。	
評価項目2	各話題についての情報を英文で読み、その内容を完全に理解してライティング活動で表現することができる。			各話題についての情報を英文で読み、その内容の概略を理解してライティング活動で一部表現することができる。		各話題についての情報を英文で読み、その内容の概略を理解してライティング活動で表現することができない。	
評価項目3	TOEICの重要語句や文法、リスニングのコツを理解し、TOEIC試験において350点程度のスコアを取得する。			TOEICの重要語句や文法、リスニングのコツを理解し、TOEIC試験において300点程度のスコアを取得する。		TOEICの重要語句や文法、リスニングのコツを理解し、TOEIC試験において250点程度のスコアを取得することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	基礎知識の定着を図りつつ、総合的な英語運用能力のうち、Writing, Speaking,Listeningについての能力向上を図ります。また、卒業後の企業や大学においても、TOEICスコアを必要とされることがあります。この授業をきっかけとして、TOEICにも目を向け、公開試験やIP試験を積極的に受験してほしいと思います。						
授業の進め方・方法	【授業】ディベートの構成、様々な情報検索の方法、それぞれのツールの使い方などを学んだ後、グループでディスカッションしながら、テーマに沿った議論を組み立てていく。それぞれの授業において立論、質疑、応答、反駁を順にオンライン上で行っていき、相手チームと議論を交わしていく。最後に、双方の議論をまとめたディベート振り返りレポートをまとめる。【評価】達成度評価 (%) について、発表40%、課題40%、その他で20%とします。						
注意点	必ずテキストと英和辞典、ノート（またはルーズリーフ）を持ってきましょう。わからない単語はすぐに調べること。積極的な課題発表や発表準備の姿勢を評価します。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	導入・ディベートの構成を学ぶ		授業の概要、ディベートの方法論と構成、情報検索方法、ツールの使い方を学び理解することができる。		
		2週	テーマ、議論の立て方を学ぶ		テーマ決められたテーマについて議論の立て方を学び、議論の軸を作ることができる。		
		3週	テーマについて大体の筋立てを決め、メンバーで話し合う		具体的に議論を組み立てることができる。		
		4週	立論（肯定派・否定派）		具体的に議論を組み立てることができる。相手の主張を理解することができる。		
		5週	互いの立論に対する質問		相手の主張に対して質問をすることができる。		
		6週	質問に対する回答、議論のまとめについてメンバーと話し合う		質問に回答し、立論と質疑を基に最終的な主張を組み立てることができる。		
		7週	立論と質疑を基に、最後のまとめの議論（反駁）		お互いの最後の主張をよく読み、どういう議論だったのかを理解することができる。		
		8週	議論の振り返りと自己・他者評価		これまでの議論について、内容理解の定着状況を確認する。		
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。		2	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。		2	

				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	2	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	2	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	2	

評価割合

	試験	発表	課題	相互評価	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	40	40	0	0	20	100
基礎的能力	0	40	40	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0